

受講すれば、業務効率もスキルもアップ！  
SHIFTのナレッジを凝縮した「ヒンシツ大学」の魅力

# ヒンシツ大学のサービスご紹介

2025.V1

株式会社 SHIFT ソリューション本部 デリバリ改革統括部  
能力開発部 ヒンシツ大学グループ



その常識、変えてみせる。 **SHIFT**

# 目次

<b>01</b>	<b>ヒンシツ大学の概要</b>	3p
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ヒンシツ大学とは</li><li>・ さまざまな課題を解決</li><li>・ ヒンシツ大学の特徴</li><li>・ ヒンシツ大学の講座活用によるメリット</li></ul>	
<b>02</b>	<b>サービスのご紹介</b>	9p
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ サービス概要</li><li>・ サービス方式</li><li>・ サービス紹介</li><li>・ 検定・診断／公開講座・企業研修・そのほか教育プログラムの違い／公開講座・企業研修・IT新書（新人若手育成）／SHIFT DXアカデミー／e-learnig・オンラインセミナー</li></ul>	
<b>03</b>	<b>サービス活用のご紹介</b>	20p
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 講座相関図</li><li>・ 教育プログラム活用例 （品質マネジメント教育プログラム／プロジェクトマネジメント教育プログラム／ IT化推進マネジメント教育プログラム）</li></ul>	
<b>04</b>	<b>プロジェクトマネジメント検定のご紹介</b>	27p
<b>05</b>	<b>価格表・取消料</b>	34p
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 価格表／「ヒンシツ大学のIT新書」のご利用方法／公開講座チケットのご案内／取消料</li></ul>	
<b>06</b>	<b>申し込みから実施・精算までの流れ・お問い合わせ先</b>	39p

# 01

## ヒンシツ大学の概要

# ヒンシツ大学とは

ヒンシツ大学とは株式会社SHIFTが培ったナレッジを言語化し体系化した教育専門機関です。経験豊富な講師陣のもと、汎用的なIT人材の育成から専門的なエンジニア育成までバリエーションに富んだ講座を提供しています。

事業会社・開発依頼者向け

## IT人材育成講座

- 新人・若手向け「社会人基礎・ビジネスマナー・IT基礎」
- 要件・開発・テスト・コミュニケーション
- マネジメント など

システム会社・開発者向け

## エンジニア育成講座

- 専門的Java系
- Python系
- 品質系コース など

エンジニア向け講座だけではなく、**事業会社向け講座も多数**ご用意！  
**全業種・部門にフィットする講座**を取り揃えています。

ヒンシツ大学の研修実績／SHIFTの実績

※1:2024年9月時点  
※2:2024年9月3日時点

エンジニア向け  
育成講座数  
**日本最大級**

検定・診断累計  
累計 **8,494** 人  
※1

研修受講者累計  
**62,270** 人  
※2

年間  
**4,000** 案件  
以上  
※1

品質保証ノウハウ  
**3,000** 社以上  
※1

# 日本を代表するラーニング会社にOEM提供

ヒンシツ大学講義の専門性や優れた学習効果が認められ、ラーニング会社様にも導入いただいています。

**Edifist**

エディフィストラーニング株式会社

**FUJITSU**

株式会社 富士通ラーニングメディア

**CTC**  
Challenging Tomorrow's Changes

**NTT DATA**

株式会社 NTTデータ ユニバーシティ

**TRAINOCATE**

I teach on  
**Udemy**

**HITACHI**  
Inspire the Next

🎯 株式会社 日立アカデミー

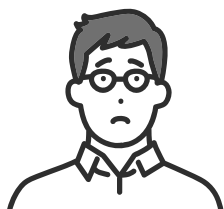
**i-Learning**

**CASAREAL**

# さまざまな課題を解決

業務効率化や必要スキルのレベルアップなど、業種・部門をはじめ新人とベテランでは抱える課題もそれぞれ異なります。企業が成長していくためにも、組織や業務の目的に合わせた戦略的な人材育成が必要です。

＼ このような課題はありませんか？ ／



事業会社（開発依頼者）

部門業務を  
効率化したい

帰属意識の醸成や  
視野の拡大を図りたい

DX人材を早期に  
育成したい

全社的なスキルの  
底上げをしたい



システム会社（開発者）

開発現場の品質が  
あがらない

業務に必要な  
専門スキルや方法論を  
身につけたい

現場のスキルやレベルを  
把握できていないため  
学習計画を立てられない

プログラミングだけでなく  
マネジメントスキルも  
身につけたい



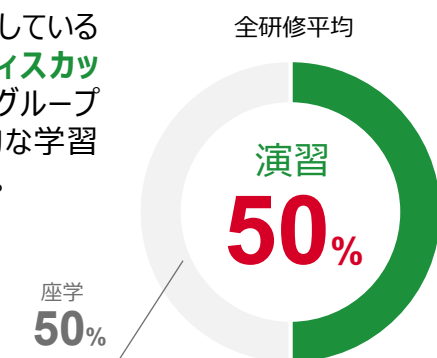
さまざまなお客様の課題を「ヒンシツ大学」が解決！  
**組織や業務の目的に合わせた、戦略的な人材育成を支援します。**

# ヒンシツ大学の特徴

体験型の学習スタイルのほか、診断・検定を学習計画に活用するなど、実用性の高い学習スタイルが特徴です。実践を重視したカリキュラム構成のため、効率的かつ迅速なスキル習得が可能です。

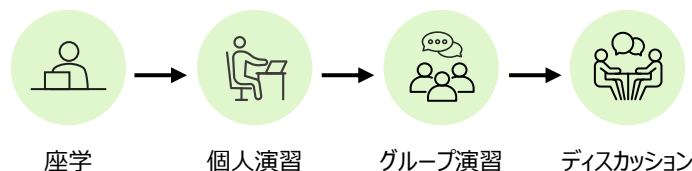
## 演習中心の体験型の学習スタイル

早期のスキル習得を目的としているため、ヒンシツ大学では**ディスカッション・演習中心**（個人・グループワーク）の効率的・効果的な学習スタイルを取り入れています。



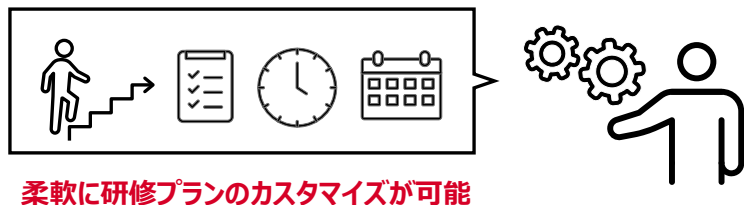
## 現場ノウハウを反映した実践重視のカリキュラム

実例を取り上げた**ケーススタディ**や**品質保証**で培った**ナレッジ**など**現場ノウハウ**を教材に反映。座学と演習を組み合わせることで受講後すぐに活用できることを目指した**実践重視のカリキュラム**です。



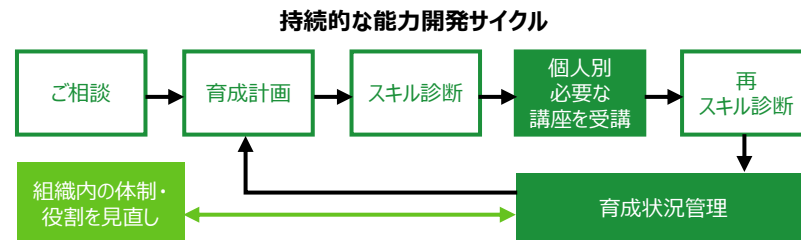
## 研修プランのカスタマイズ

課題に応じた**研修プラン**や受講者の**レベル**に合わせて**講座をカスタマイズ**。目的に即した研修計画の提案が可能です。



## 診断・検定による能力の可視化

能力を可視化する**診断**や習熟度を図る**検定**の実施により、受講者の強みや弱みを把握。学習に活用することで、**さらなる教育戦略の立案**が可能です。



# ヒンシツ大学の講座活用によるメリット

メリット

01

開発・品質向上・プロジェクトマネジメント講座を中心に、各分野において強みをもつヒンシツ大学の講座により、**実践的・体系的なスキル・ノウハウを習得**できます。

メリット

02

業務経験豊富で専門性の高い講師と演習においてインタラクティブなやりとりを行うことにより、**業務で困っている問題を解決するヒントを持ち帰る**ことができます。

メリット

03

ヒンシツ大学の講座をOff-JTとして受講いただくとともに、**SHIFT**による各種サービスをOJTとしてご活用いただき**スキルの定着を図る**ことができます。(テスト支援・脆弱性診断支援 etc...)

## 事業成長に向けた人材の長期的育成

基礎知識・スキルの強化

実践的スキルの習得

実践的スキルの定着・共有

お客様：実プロジェクトの実施

SHIFT

業務支援 (OJT)

伴走

SHIFT

業務支援 (OJT)

伴走

SHIFT

業務支援 (OJT)

伴走

ヒンシツ大学

教育支援 (Off-JT)

・診断にてスキル可視化  
・研修にてスキル強化

ヒンシツ大学

教育支援 (Off-JT)

・研修にてスキル強化

ヒンシツ大学

教育支援 (Off-JT)

・研修にてスキル強化

ヒンシツ大学によるご提案範囲

Off-JTと  
OJTによる  
人材育成

※ ヒンシツ大学による「教育支援」とSHIFTによる「業務支援」は、それぞれ別のサービスです。

**Off-JTとOJTを組み合わせることで、人材育成の相乗効果が期待できます!**



# 02

## サービスのご紹介

# サービス概要

新人若手研修から生成AIの講座まで、**全業種・部門にフィットするバリエーションに富んだ講座**を提供しています。パッケージではないので、公開講座のみの受講や検定との組み合わせなど、無駄なく効率的に教育計画を立てることが可能です。**企業研修では目的に応じて講座をカスタマイズ**できるので、さらに自由度があがります。

## 検定・診断



現況と課題を確認  
企業研修受講前後のスキル  
診断として活用可能

- 申し込み：お問い合わせください
- 日程：お客さまの希望日にて承ります
- 申し込み人数：1名様から

## 企業研修（1社研修）



ご要望や課題を  
コンサルティングしたうえで、  
研修をカスタマイズ提供

- 申し込み：お問い合わせください
- 日程：お客さまの希望日にて承ります
- 申し込み人数：8名様から

## 教育 サービス

組織に必要な能力を  
引き出すための  
複合型サービス

## 公開講座



職能やレベルを網羅した  
多彩な講座ラインアップ

- 申し込み：ホームページ
- 日程：講座実施日から選択
- 申し込み人数：1名様から

## その他教育プログラム



新人若手育成／IT新書  
SHIFT DXアカデミー  
e-learning・オンラインセミナー

※申し込み、日程、申し込み人数など、  
各講座ごとで異なるため、お問い合わせください

# サービス方式：場所を問わない講座提供

## オンライン・集合型・出張講義が可能！

(公開講座・企業研修共通)

- 公開講座オンライン版をご提供
- ライブ講座でインタラクティブ性を確保
- 個人・グループ演習中心の実践講座

主流

### オンライン

(公開講座・企業研修)



- Zoomを利用したオンライン講義
- 20名前後まで受講可能

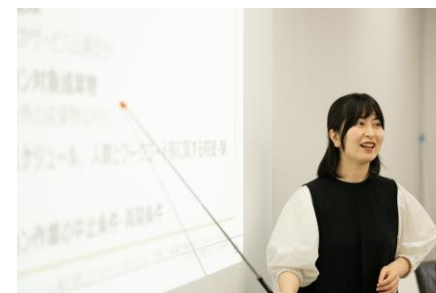
### 集合型

(SHIFTセミナールーム)



SHIFTセミナールームにて対面型講義

### 出張講義



ご指定場所にて対面型出張講義

※集合型はSHIFTセミナールーム（東京新宿）を使用します。出張講義は別途出張費用（講師派遣料・交通費）を申し受けます。



診断や検定を受けることで、**受験者の能力を可視化**することができます。何のスキルが不足しているのか、組織として何を強化すればいいかなど研修計画が立てやすくなるため、**経営戦略に即した人財育成が可能**になります。

カテゴリ	No	検定／診断	種別	解答方式	時間(分)	合格率	主な指標
ソフトウェアテスト	1	品質基礎スキル診断 (日本語版/英語版)	スキル	選択式	60	—	品質基礎、テスト設計、インスペクション、不具合分析、テスト計画、非機能テスト ※平均点：40／100
プロジェクト マネジメント	2	P M検定－知識編	知識	選択式	40	45	PMBOKのフレームに沿って、システム開発を推進するPMに必要な知識を問う。
	3	P M検定－実践スキル ・進捗管理編	スキル	選択式	40	45	プロジェクトの進捗状況に応じた基本的な対応力を問う。 (バグの収束状況も意識しなければならないテスト工程を題材としている)
	4	P M検定－実践スキル ・問題対応編	スキル	選択式	50	30	プロジェクト状況に応じた対応力、問題解決力、ステークホルダーとの調整力を問う。 (影響が比較的大きい下流工程で発生したトラブルを題材としている)
	5	P M検定－素養編	素養	一部 選択式	60	20	個人のコミュニケーションの4つの能力（関係構築力、相手理解力、表現伝達力、情報プロセス力）を確認。
各種 ビジネススキル	6	ITインフラ基礎スキル診断	スキル	一部 選択式	50	—	ITインフラ関連業務のさまざまな立場による考え方のGAPを把握し、適切な育成プランへの接続を目的としたITインフラ業務における診断です。
	7	生成AI活用度診断 ※2025年10月リリース予定	スキル	選択式	30	—	生成AIの活用スキルの可視化を図ります。 4つにカテゴリ（基礎知識・性質理解・プロンプト作成力・結果検証力）におけるスキルレベルと強み・弱みを把握します。
発注者のための ビジネススキル	8	IT企画診断－ ビジネス&IT化構想編 ※2025年10月リリース予定	スキル	選択式	60	—	業務効率化のため、業務に精通した「業務スペシャリスト」が組織を巻き込み、現場業務をまとめ、プロジェクト・IT化を推進させるため、6つのカテゴリにおけるスキルレベルを確認します。 ①組織を動かす ②ITを活用した事業戦略の企画力 ③情報システム戦略と全体システム化計画の立案力 ④個別システム化構想力 ⑤情報システム戦略の実行管理力⑥リスク分析力
	9	IT案件推進診断－ 要求・要件定義・受入テスト 編 ※2025年10月リリース予定	スキル	選択式	60	—	ユーザーからのシステム要求を整理し要件定義を行う。 定義した要件に基づいてシステムが開発され・テストが行われる。 発注者は要件通り及びサービスを実現できるシステムが否か受入テストを通じて評価するスキルが必要です。それらを6つのカテゴリからスキルレベル診断します。 ①RFPに関する知識 ②システム化計画の立案力 ③要件の識別力 ④開発に関する要件の作成力 ⑤運用・保守に関する要件の作成力 ⑥システム評価力



## スキル可視化（例） ※強み弱みを事前確認

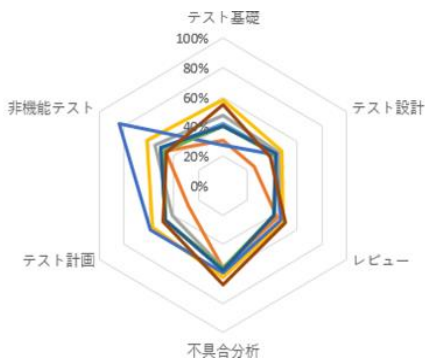
受検者全体の結果を可視化すると共に、個人別レポートによって受検者ご自身によるスキルレベル振返りにも活用可能です。

### システム開発者に適した

#### ■品質基礎スキル診断

品質基礎スキルを6つのカテゴリに分けて  
それぞれを選択テストで測定

- ・品質基礎
- ・テスト設計
- ・インスペクション
- ・不具合分析
- ・テスト計画
- ・非機能テスト



### 受験後、研修プログラム受講へ

#### オススメ講座

- ・ソフトウェアテスト入門
- ・テスト設計「機能テスト」
- ・仕様書インスペクション
- ・不具合分析
- ・テスト計画
- ・非機能テスト入門

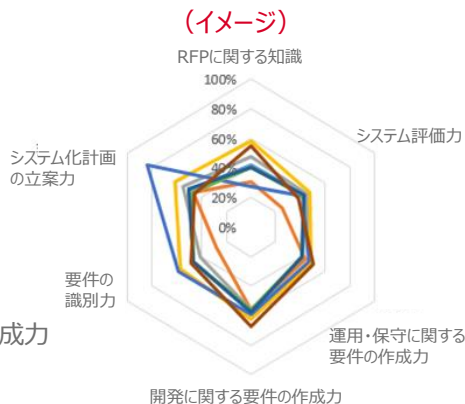


### 発注者（事業会社）サイド担当者に適した

#### ■ IT案件推進診断- 要求・要件定義・受入テスト編

6つのカテゴリからスキルレベル診断  
それぞれ選択テストで測定

- ・RFPに関する知識
- ・システム化計画の立案力
- ・要件の識別力
- ・開発に関する要件の作成力
- ・運用・保守に関する要件の作成力
- ・システム評価力



#### オススメ講座




- ・システム化企画と要件定義
- ・IT化推進（案件推進）
- ・プロジェクトマネジメント基礎
- ・アジャイル開発DevOps入門
- ・受入テストの計画と設計
- ・発注者に役立つテスト計画の理解

03 サービス活用のご紹介にて  
活用例をご紹介します

# 公開講座・企業研修・そのほか教育プログラムの違い

教育システムや人財開発、新入社員から管理者層など、幅広い業種や部署、人財に適応した多様な講座や研修を開催。1名から参加できる講座など、お客様の要望やニーズに寄り添うサービスを提供しています。

／ 場所や日時の自由度の高い「企業研修」がオススメ ／

	 公開講座	 企業研修（一社様向け）	 そのほか教育プログラム IT新書（新人若手育成）
申し込み	ホームページから自由にお申込み	ニーズに応じた研修を紹介、または <b>カスタマイズ</b> して提案（1社研修）	ご希望の講座をご選択
開催形式	HPに講義日程を公開し 弊社セミナールーム・オンライン	お客様のご要望に沿った 場所・形式で開催可能	ご希望の講座を選択 （オンライン開催）
開催人数	4～24名	8～24名	1～24名
小テスト	なし	あり	なし
終了報告	なし	あり	なし
講座カスタマイズ	なし	あり	なし
フォローアップ	なし	あり	なし
価格（税込）／1名	46,200円～92,400円	55,000円～104,500円	33,000円

\* 講座時間は各講座概要に記載しております。  
\* 「講座一覧」「講座概要資料」を別途ご用意しております。



企業研修では、個別企業様向けに提供しています。

**内容はもちろん、日時や場所などカスタマイズが自由**なため、ご要望や課題に適した研修のご提供が可能です。

### 概要

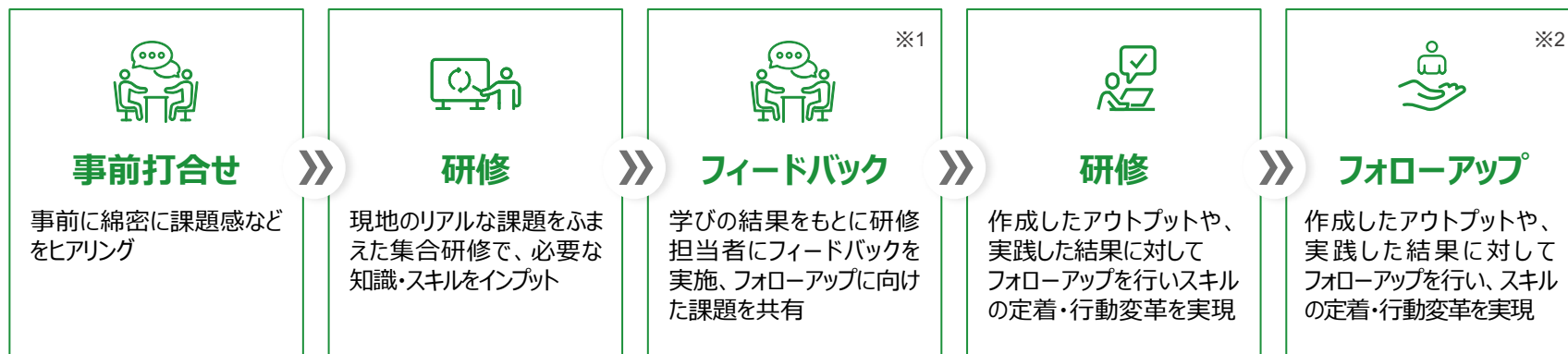
- 8名～24名までの一社向け企業研修
- オンライン、弊社セミナールーム、お客様先など、さまざまな形式で開催可能
- 個人・グループ演習中心の実践講座

### こんな課題をもつ方にオススメ

- ①テスト技法、品質の考え方が個人やベンダーに依存している
- ②開発重視で、品質意識が低い
- ③テスト成果物に対して十分な指摘ができない など

### 企業研修のフロー

※1:フィードバックは通常料金のなかに含まれており、研修後の別日程で実施します。  
 ※2:フォローアップは1社向け企業研修のオプション（有料）となります。



### 講座のカスタマイズパターン例





公開講座では、職能やレベルを網羅した多彩な講座を取り揃えています。  
ヒンシツ大学のホームページよりお申し込みいただけます。

【URL】 <https://www.hinshitsu-univ.jp>

### 概要

- 1名からお申し込みいただけます
- オンライン、弊社セミナールームなど、さまざまな形式で開催可能
- 個人・グループ演習中心の実践講座

幅広い分野の実践的講座をご用意しています。

- ①品質の基礎を学びたい／レベルを向上させたい
- ②テストに関する様々な知見を養いたい
- ③プロジェクトマネジメントについて学びたい
- ④ウォーターフォールからアジャイルへ移行して行きたい
- ⑤生成AIの基礎を学び活用を促進したい

### 公開講座のフロー



#### HPからお申込

HPから講座と開催予定  
日を確認し予約



#### ご案内

受講に必要な情報をご案内いたします



#### 研修

各自オンラインまたは  
セミナールームにご集合  
いただき受講ください



#### ご請求

各企業様ごと請求書  
(後払い) をご送付  
いたします。

\*「講座一覧」「講座概要資料」を別途ご用意しております。





「IT新書」は新人から若手を対象としており、基本的なビジネスマナーから先進的な開発系技術まで、実務に即した技術が身につきます。また、ワークショップなど他社人材※1との交流を深めることで、自社への帰属意識の醸成や視野の拡大など、ビジネスに必要なマインドセットも同時に養うことが可能です。

### IT新書の特徴

**01**

基本的なビジネスマナー  
から先進的なDXやAIまで  
幅広いコンテンツが充実

**02**

実践的な演習を  
主軸としたカリキュラム

**03**

1名単位で  
受講申込み可能

※2

※1:1社専用研修で実施する場合は、ディスカッションタイムを設けるなど社内交流を図ることも可能です。

※2: 参加人数により、催行中止の場合がございます。

### 数社の受講者が同一講座に参加するメリット



#### 他社との比較により視野が広がる

参加する企業のバックグラウンドの異なる受講者と  
意見交換することで、視野を広くもてる人材に。



#### 自社への帰属意識が高まる

自社の理念を他社の受講者に発表することで、  
帰属意識が高まる。

**ビジネスに必要なマインドセットが同時に養うことが可能です。**

※「講座一覧」「講座概要資料」を別途ご用意しております。



## 未来を切り開く、次世代DX推進リーダー（ビジネスアーキテクト）育成プログラム

ビジネスや社会が大きく変化する現代において、デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進は企業競争力を左右する重要な要素になっています。SHIFT DXアカデミーは、**デジタルによる変革をリードし、ビジネスの成長を加速させるリーダーを育成するための教育プログラム**です。

### 受講の対象となる方

- DXを推進する立場にある人
- 組織を牽引するリーダーまたは候補者
- 管理者層／経営者層
- DXを企画・検討している企業

### SHIFT DXアカデミーの特徴

- ①経営視点でのDXを推進できるリーダー育成に特化した独自カリキュラム
- ②参加者間でのコミュニティ構築や、企業間協業の可能性を促進
- ③研修終了後も、リアルビジネスでのアドバイスや支援が受けられる

SHIFT DX Academy 標準カリキュラム（8日間）			
コース概要	経営戦略の方向性の理解からデジタル技術を使ってその戦略を具現化するためのアプローチ方法、DXリーダーとして必要な思考やヒューマンスキルを、さまざまな演習やワークショップを通じて修得します。		
開催形態	プライベート講座（個社専用研修）	研修期間	約8週間（週1日 X 8回）※1
受講方式	集合研修＋オンライン講座	研修会場	（株）SHIFT施設、または貴社指定の場所
料金	個別見積り	料金目安	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者 4名以内の場合：1コース260万円～</li> <li>・受講者 5名～8名の場合：1コース520万円～</li> <li>・受講者 9名～12名の場合：1コース780万円～</li> </ul>

※1：ご要望に応じて短縮カリキュラム（2日間～）のカスタマイズにも対応します。

\*「講座概要資料」を別途ご用意しております。



個人学習をサポートするプログラムです。新たに学習を始める方や検定診断・講座受講後の復習にも最適です。

	e-learning	オンラインセミナー	e-learning (Light Plan)
講座の特徴	研修プログラムをコンパクトに まとめた講義内容	テーマごと講師が 講演スタイルで解説	生成AIを活用
ご提供状況	提供中	提供中	計画中
内容	講師による講義スタイル (演習付コースもあり)	講師による講演スタイル	生成AIを活用した講義スタイル
受講人数	1名様から		
講義時間 (1講義)	約 1 ～ 3 時間 (講義により時間は異なります)	約 1 時間	約0.5～ 1 時間 (講義により時間は異なります)
受講タイミング	好きな時間で自由に繰り返しアクセス可能		
価格 (1講義/税込)	20,000～30,000円	5,000～10,000円	5,000円
アクセス先	Udemy (ユーデミー) 講義ごとにURLをご紹介	講義ごとにURLをご紹介	準備中

\* 講座時間は各講座概要に記載しております。  
\* 「講座一覧」「講座概要資料」を別途ご用意しております。

# 03

## サービス活用のご紹介

# 開発を依頼する側・作る側、双方に役立つ講座相関図

開発工程とテスト工程、開発を依頼する側（事業会社情シス・ユーザー部門）、作る側（エンジニア）双方に役立つ講座を取り揃えています。

## 依頼する側視点の講座 （事業会社・開発依頼者向け）

### 要件・開発・検収

- システム化企画と要件定義
- 受入テストの計画と設計
- インフラ企画入門（基礎研修）
- IT化推進
- テスト計画総合
- テスト管理者・テスト計画
- テスト管理者・テスト管理
- テスト管理者・不具合分析
- 押さえておくべき要件定義のポイント



## 依頼する側・作る側、双方に役立つ講座

- 仕様書インスペクション
- 課題解決テクニック
- テスト計画
- アジャイルスクラム入門
- 非機能テスト入門
- 希望が持てるITサービスの考え方
- 不具合分析
- 作るUX・測るUX実践講座
- DXパターン
- 理想のCXを実現する
- デザイン思考
- 生成AI入門編・業務活用編
- チームワーク力強化
- セルフマネジメント



## 作る側視点の講座 （システム会社・開発者向け）

### テスト基礎

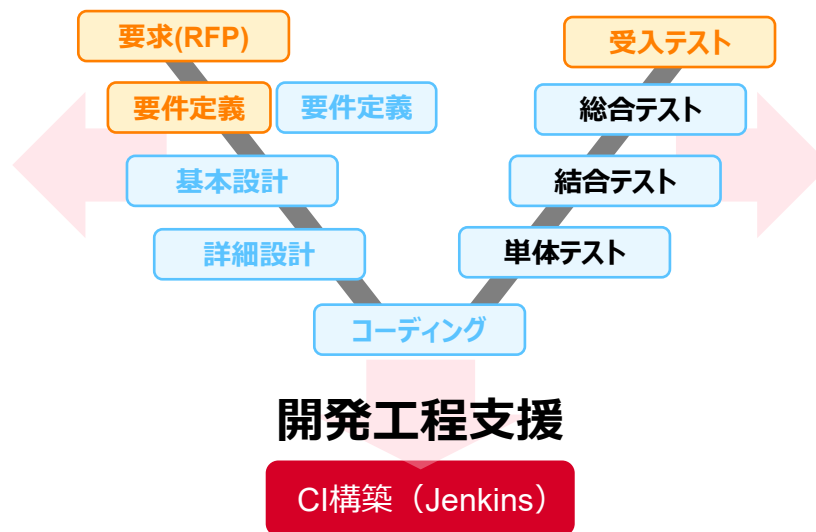
- ソフトウェアテスト基本の「き」
- ソフトウェアテスト入門

### テスト応用実践

- テスト設計「機能テスト」・「シナリオテスト」
- テスト演習「機能テスト」
- テスト自動化「入門」・「実践」
- テスト「戦略」・「管理」・「計画」・「管理【実技編】」
- 戦略・テスト管理
- テスト観点のつくり方
- テストプロセス改善
- TDDテスト駆動開発
- セキュリティテスト入門
- 性能テスト入門
- DevOpsテスト入門
- AIテスト入門

### プロジェクト関係

- 要件定義入門
- 要件定義の実践
- プロジェクトマネジメントの実践
- マスターテスト計画書の作成・活用実践



# 品質マネジメント 教育プログラム

## 例：品質基礎スキル診断と品質関連講座

### スキル診断

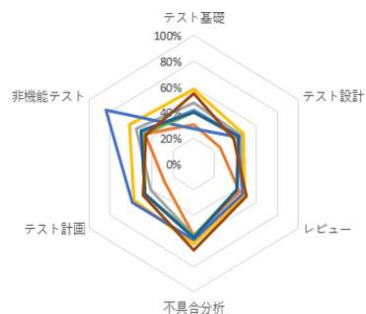
知識・スキル測定

強み弱みを事前確認

### 品質基礎スキル診断

品質基礎スキルを6つのカテゴリに分けてそれぞれを選択テストで測定

- 品質基礎
- テスト設計
- インспекション
- 不具合分析
- テスト計画
- 非機能テスト



### システム開発会社：テスト実施者向け研修

品質基礎・テスト設計（機能テスト）からレビュー技法まで専門的知識を習得するプログラム

ソフトウェアテスト概論



テスト設計（機能テスト）



テスト設計（シナリオテスト）



テスト観点の作り方



非機能テスト入門



仕様書インスペクション

※ 検定／診断は、予め受験期間を定めておき、受検者は各自ご都合の良い時間にWeb（Forms）で受検いただけます。  
全員の受検完了を確認した後、一週間程度で個人レポートおよび主催者様向けレポートのご提示と共に結果をご報告させていただきます。

# プロジェクトマネジメント 教育プログラム

## 例：PM検定とPM育成関連講座

### 選択

#### スキル診断

知識・スキル測定  
強み弱みを事前確認

#### PM検定 知識編

PMBOKのフレームに沿ってシステム開発を推進するPMに必要な知識を問う

#### PM検定 実践スキル・進捗管理編

プロジェクトの進捗状況に応じた基本的な対応力を問う

#### PM検定 実践スキル・問題対応編

プロジェクト状況に応じた対応力、問題解決力、ステークホルダーとの調整力を問う

- 計画立案力
- プロジェクト完遂力
- 問題の察知・解決力
- チームマネジメント
- 顧客調整能力



#### 事業会社（発注者）側のPM育成・リスクリングプログラム

システム開発における仕様策定・要件定義・マネジメント・レビュー技法など必要な知識を習得

##### システム化企画と要件定義

- ・業務要件をシステム要件に落とすために必要な知識
- ・ベンダーにシステム要件を正確に伝えるための考え方、知識
- ・要件定義とは何か。注意すべきポイントを学習

##### 発注者に役立つテスト計画の理解

##### 受け入れテストの計画と設計

#### 発注者・受注者 双方に役立つ講座

**仕様書インスペクション**  
実践で活躍するための仕上げ  
上流品質意識定着

**チームワーク力強化**  
チームワークの重要性、チームワーク  
力発揮には何ができるか具体化

**現場力 進捗管理編**  
計画作成、進捗追跡  
予期せぬ問題対応体得

#### システム開発会社（受注者）側のPM育成・リスクリングプログラム

システム開発における品質検証・要件定義・マネジメント・レビュー技法など必要な知識を習得

##### マスターテスト計画書の 作成・活用実践

- ・定義した要件の全体プランニングと計画書作成実践

##### プロジェクトマネジメント実践

- ・PM実践、PMスキルを網羅的に実践的に習得

##### 要件定義の実践

※ 検定／診断は、予め受験期間を定めておき、受験者は各自都合の良い時間にWeb（Forms）で受験いただけます。  
全員の受験完了を確認した後、一週間程度で個人レポートおよび主催者様向けレポートのご提示と共に結果をご報告させていただきます。

# プロジェクトマネジメント 教育プログラム

## 例：PM検定とヒューマンスキル系講座

### 検定／スキル診断

知識・スキル測定

強み弱みを事前確認

PM検定  
素養編

個人のコミュニケーションの4つの能力を確認する

- 関係構築力
- 相手理解力
- 表現伝達力
- 情報プロセス力

選択



### PM育成・ヒューマンスキル教育プログラム（案）

プロジェクトマネジメントの基本と、組織を動かすために必要な説明内容、共感・調整や能動的コミュニケーション方法など必要な知識習得

発注者・受注者 双方に役立つ講座

チームワーク力強化

先頭に立ってプロジェクト推進してゆく力量を醸成

対顧客の心構え  
クライアントコミュニケーション

ソフトウェア開発におけるコミュニケーションの重要性と失敗例を知り、能動的コミュニケーション、良いコミュニケーション方法を習得

### 事業会社（発注者）側のPM育成・リスキリングプログラム

システム開発における仕様策定・要件定義・マネジメント・レビュー技法など必要な知識を習得

施策推進

組織を動かすために説明すべき背景や目的、方向性や、メンバーとのゴール共有・共感の重要性、調整スキルを向上

プロジェクト  
マネジメント

日常の作業やチーム活動全般をプロジェクトと捉え、それらを成功に導くために必要となるマインドセットや実践的な知識を習得

※4時間×2パートで構成され、できれば同日受講をお奨めします。

※ 検定／診断は、予め受検期間を定めておき、受検者は各自ご都合の良い時間にWeb（Forms）で受検いただけます。

全員の受検完了を確認した後、一週間程度で個人レポートおよび主催者様向けレポートのご提示と共に結果をご報告させていただきます。



# IT化推進マネジメント 教育プログラム

## 例：IT案件推進診断-要求・要件定義・受入テスト編と関連講座

### スキル診断

知識・スキル測定

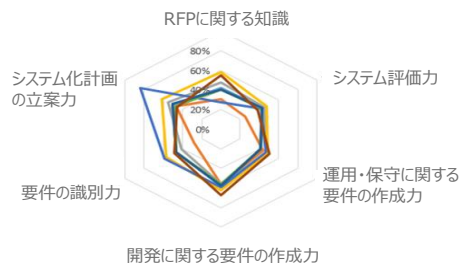
強み弱みを事前確認

#### IT案件推進診断- 要求・要件定義・受入テスト編

スキルを6つのカテゴリに分けて  
それぞれを選択テストで測定

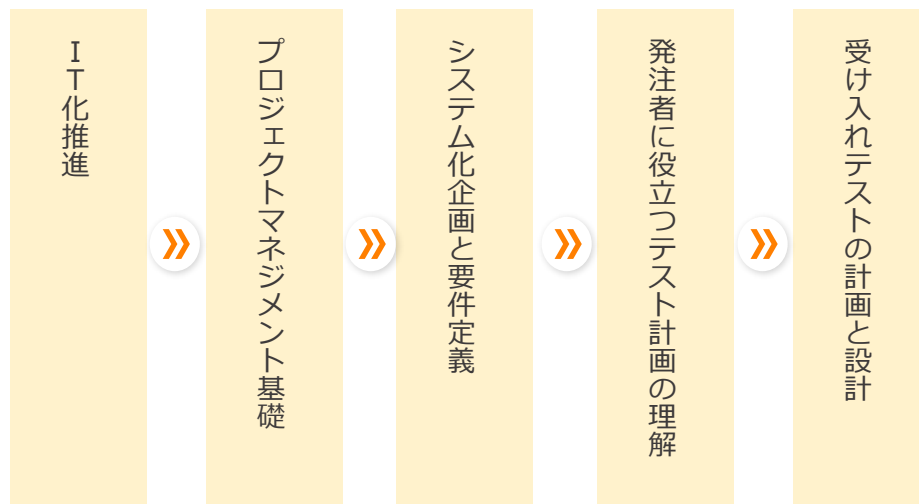
- RFPに関する知識
- システム化計画の立案力
- 要件の識別力
- 開発に関する要件の作成力
- 運用・保守に関する要件の作成力
- システム評価力

(イメージ)



### 事業会社：テスト管理者向け研修

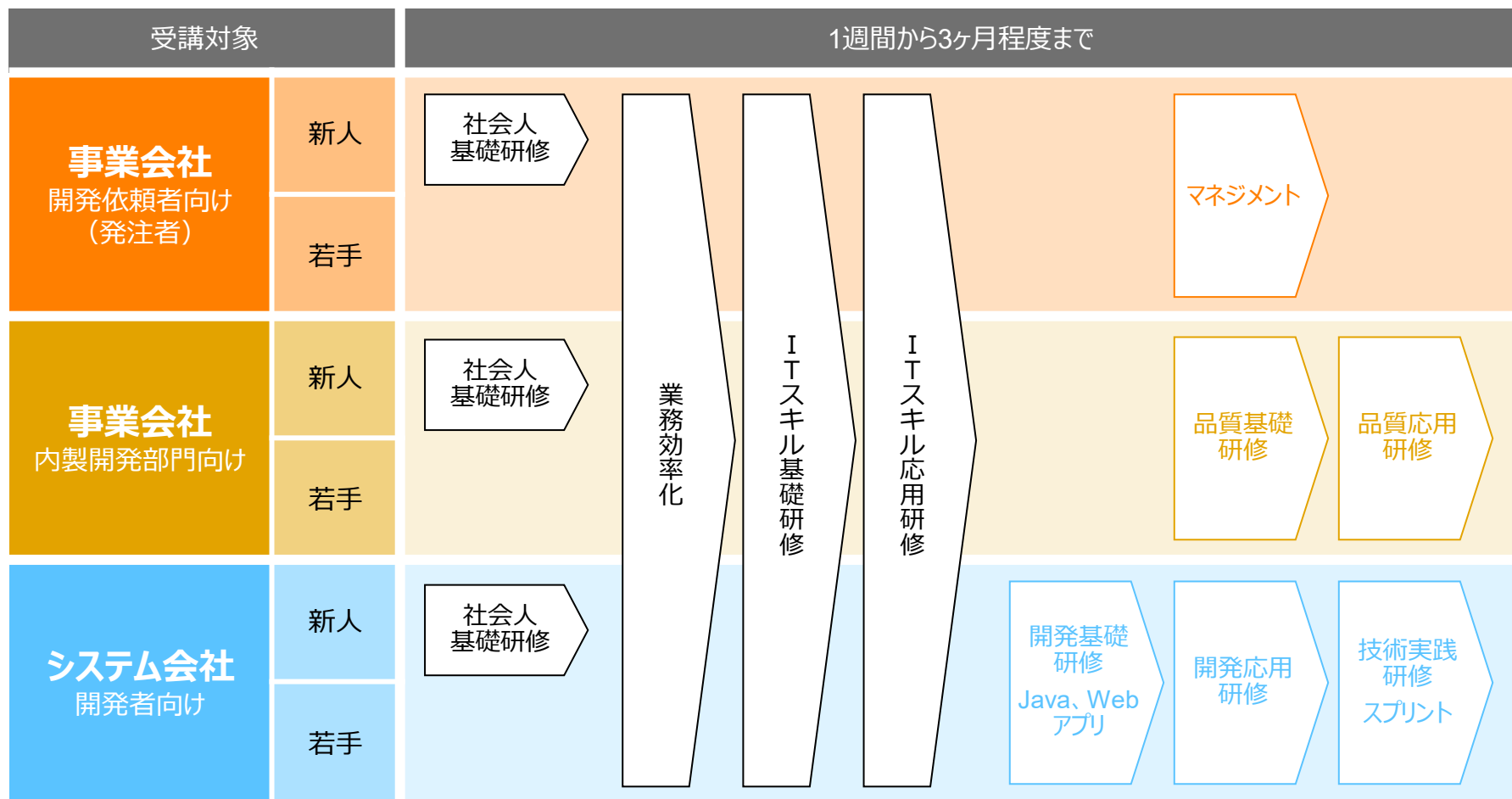
IT化方針・計画策定から要求・要件定義、発注者としてのテスト評価知識（計画・受入）を習得するプログラム（ベンダー作成テスト計画書の妥当性評価スキルも習得）



※ 検定／診断は、予め受検期間を定めておき、受検者は各自ご都合の良い時間にWeb（Forms）で受検いただきます。  
全員の受検完了を確認した後、一週間程度で個人レポートおよび主催者様向けレポートのご提示と共に結果をご報告させていただきます。

# IT新書 教育プログラム

例：業種・業態・経験ごと社会人基礎からITスキル、開発系技術まで受講内容の選択が可能



# 04

## プロジェクトマネジメント検定のご紹介

# プロジェクトマネジメント（PM）検定の体系

PM検定とは、プロジェクトマネジメントに必要な知識やスキル、対応力や素養などを測る検定です。苦手なスキル、強化したいスキルをカテゴリーごとに選択することができ、効果的な講座の受講が可能となります。

01

PM検定  
知識編

PMBOKのフレームに沿って、ソフトウェアテストを推進するPMに必要な知識を問う



02

PM検定  
実践スキル・進捗管理編

ソフトウェアテストの進捗状況に応じた基本的な対応力を問う



03

PM検定  
実践スキル・問題対応編

ソフトウェアテストのプロジェクト状況に応じた対応力、問題解決力、ステークホルダーとの調整力を問う



04

PM検定  
素養編

個人のコミュニケーションの4つの能力（関係構築力、相手理解力、表現伝達力、情報プロセス力）を確認する



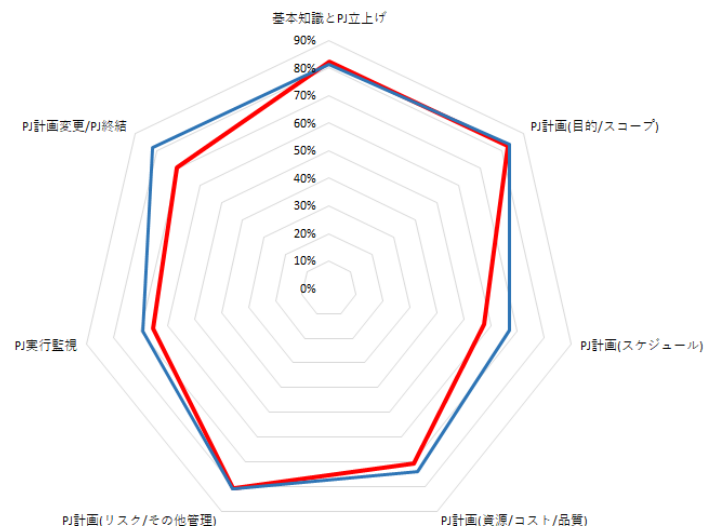
※ PMBOK（Project Management Body Of Knowledge）：

PMBOKは、PMI（Project Management Institute）が作成した、プロジェクトマネジメントに関するノウハウ・手法の体系。PMI本部が認定するプロジェクトマネジメントに関する国際資格として、PMP（Project Management Professional）がある。

PM検定「知識編」では、PMスキルを7つのカテゴリに分けて、各々選択テストで測定。アウトプットにより、受講者全体の傾向／個人別について、カテゴリ別に強みや弱みを把握します。

## PMスキルを7つのカテゴリに分けて、各々選択テストで測定

1. 基本知識と立上げ時のポイント
2. 計画策定（目的とスコープ）
3. 計画策定（スケジュール）
4. 計画策定（資源／コスト／品質）
5. 計画策定（リスク／その他管理手順）
6. 実行監視
7. 計画変更／終結時のポイント

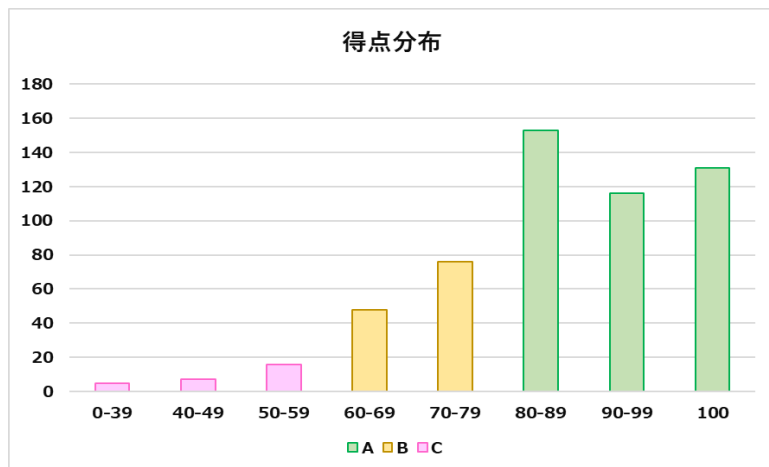


PM検定では、受検者全体の結果を可視化すると共に、個人別レポートによって受検者ご自身によるスキルレベル振返りにも活用可能です。

PM検定「実践スキル・進捗管理編」では、アウトプットにより、進捗状況に応じた基本的な対応力が可視化されます。

## 結果レポートサンプル

個人別の平均点分布です。高得点者が多数いる一方で60点以下の得点者も散見され、ばらつきがあることが分かります。



### 【結果返却レポート】

受験者個人のスキルを可視化します。

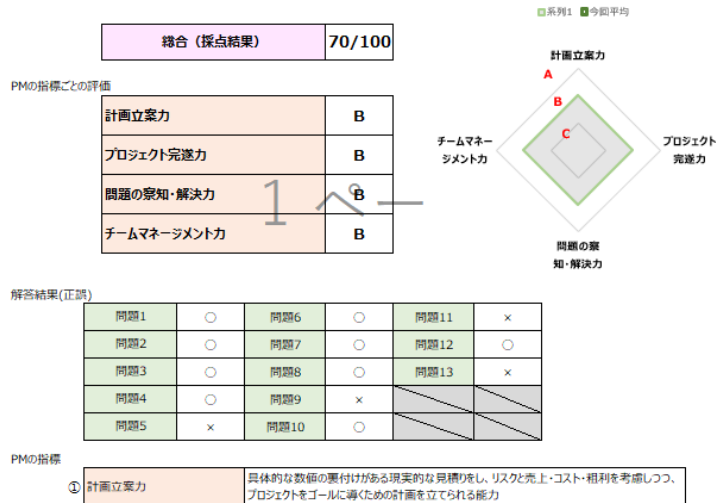
### PM検定-実践スキル・進捗管理編 結果

氏 名 :

所 属 :

<PM検定-実践スキル・進捗管理編について>

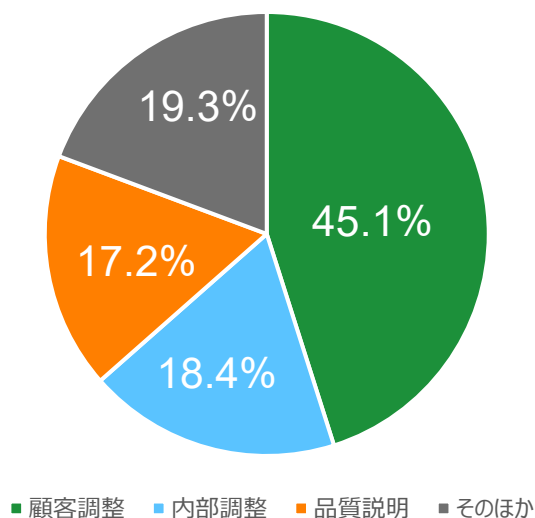
本検定は「テスト案件における最低限のPM能力」を有しているかを問う「最低限」な検定です。結果は、PMの指標(計画立案力、プロジェクト完遂力、問題の察知・解決力、チームマネジメント力)ごとに3段階(A,B,C)で表現しています。  
※間違えた問題は裏面の解説を読んで、今後のスキルアップの参考にしてください。



PM検定「実践スキル・問題対応編」のアウトプットにより、問題解決傾向（状況に応じた対応力、問題解決力、ステークホルダーとの調整力）が可視化されます。

## 結果レポートサンプル

問題解決時のアプローチのタイプ割合です。貴社PMの問題解決における傾向がわかります。

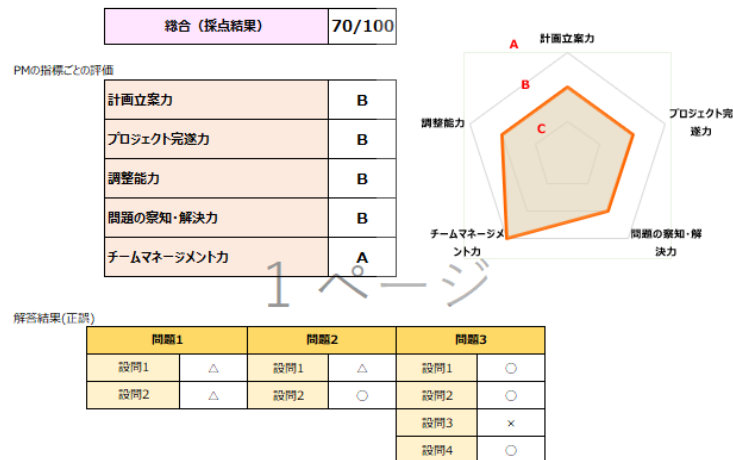


【結果返却レポート】  
受験者個人のスキルを可視化します。

### PM検定-実践スキル・問題対応編 結果

氏 名 : \_\_\_\_\_  
所 属 : \_\_\_\_\_

<PM検定-実践スキル・問題対応編について>  
本検定はテスト案件における基本的なPM能力を有しているかを問う問題性の検定です。  
結果は、PMの指標(計画立案力、プロジェクト完遂力、問題の察知・解決力、チームマネジメント力)ごとに3段階(A,B,C)で表現しています。  
※間違えた問題は裏面の解説を読んで、今後のスキルアップの参考にしてください。



PM検定「素養編」のアウトプットにより、個人別に、コミュニケーションの4つの能力（関係構築力、相手理解力、表現伝達力、情報プロセス力）について、4段階で評価します。

## 個人向け／結果レポートサンプル

### 素養確認検定-コミュニケーション- 検定結果

社員番号： 1

所 属： A部

評 価： B

得点 70/100

＜素養確認検定-コミュニケーションについて＞  
本検定は、コミュニケーションスキルを使い、能力の活用を生み出す素養があるかどうかを測定するものです。結果は、全体評価として4段階（A,B,C,D）、コミュニケーションの指標（関係構築力、相手理解力、表現伝達力、情報プロセス力）ごとに4段階（A,B,C,D）で表現しています。  
※間違えた問題は2ページ目の解説を読んで、今後の学習の参考にしてください。

関係構築力  
A  
B  
C  
D

相手理解力

表現伝達力

情報プロセス力

コミュニケーションの指標ごとの評価

分類	指標	評価	評価に対するコメント
素 養	関係構築力	A	素晴らしい！人間関係の構築に必要な安心感を生み出すやりとりを意図できています。この調子で頑張ってください！
	相手理解力	C	相手の表面化している現状や言葉から相手の状態を推測する傾向があります。次ページの学習のポイントを参考に不足している点を確認すると共に、言語情報だけでなく、非言語情報も取り入れ、相手の気持ちや意図を考えられているか注意してみてください！
ス キ ル	表現伝達力	A	素晴らしい！相手の心を動かすための実践スキルを十分持っています。この調子で頑張ってください！
	情報プロセス力	C	自分の考え、一般的な正論、やるべき論などを基盤とした表現をする傾向があります。次ページの学習のポイントを参考に不足している点を確認すると共に、相手の状況や考え、気持ちも理解できているかどうかを注意してみてください！

解答結果(正誤)

問題1	問題2	問題3	問題4	問題5	問題6	問題7	問題8	問題9	問題10	問題11	問題12	問題16	問題17
○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	△	△	○	○

※△は部分点

解答結果により、不正解／部分点の方への学習のポイント

（不正解、部分点）

問題	指標	解説
問題1	相手理解力	相手との信頼関係のレベルを見極める問題です。普段の生活の中で、相手との関係性を観察し、今あなたはこの信頼関係のレベル(心の距離感)を築けているかを考えてみてください。
問題2	関係構築力	信頼関係の根拠を問う問題です。自分から見た相手の印象や情報だけでなく、相手の気持ちを踏まえて信頼関係を築いてみてください。
問題3	関係構築力	メンバーとの信頼関係の重要性について問う問題です。信頼関係は自分のためだけでなく、相手のためを思っているものです。自分のものをスムーズに進めるためだけでなく、相手に気持ちよく仕事をもらい、心を開いて会話するために信頼関係を築くことの重要性を考えてみてください。
問題4	表現伝達力	会話の目的について問う問題です。「この会話で達成したいことは何か？」「この会話から得たい結果は何か？」を普段から考えられているか注意してみてください。
問題5	表現伝達力	相手に興味を持ってもらうためのポイントについて問う問題です。内容を伝えるときに丁寧に伝えるだけでなく、相手にどのような興味を持ってもらうかを考えてみてください。
問題6	関係構築力	信頼関係を築くために意識することについて問う問題です。信頼関係を築く上で安心感(親近感)を相手に感じてもらうための言語的コミュニケーション(何を言うか)、非言語的コミュニケーション(態度や声のトーン、話すスピード、見た目等)を意識できているかを考えてみてください。
問題7	相手理解力	会話に集中できない要因について問う問題です。集中できない要因として、内的要因(興味がない等)や外的要因(電話がかかってくる、雑音がある等)のほかに、信頼関係が与える要因(相手のことを好きでない、不信に思っている等)を考えてみてください。
問題8	相手理解力	会話に集中できない要因に対する行動について問う問題です。外的要因には、できるだけ要因を排除(環境・場を整える)できているか、信頼関係が与える要因には、相手の状況や考え、気持ちを理解できているかどうかを考えてみてください。
問題9	相手理解力	相手の反応が悪いときの原因について問う問題です。自分のコミュニケーションの何が原因で、今の反応を引き出したかを言語的コミュニケーション(何を言うか)、非言語的コミュニケーション(何を言うか)を振り返り、改善点を探してみてください。

解答から能力指標を4段階で評価したデータ

指標に関する説明



PM検定「素養編」のアウトプットにより、個人別に、コミュニケーションの4つの能力（関係構築力、相手理解力、表現伝達力、情報プロセス力）について、4段階で評価します。

## 主催者向け／結果レポートサンプル

個人別の判定結果と  
指標別評価・得点率を  
把握できます

4指標に関する評価

4指標に関する評価

名前	判定結果	得点	関係構築力_評価	相手理解力_評価	表現伝達力_評価	情報プロセス力_評価	関係構築力_得点率	相手理解力_得点率	表現伝達力_得点率	情報プロセス力_得点率	設問1	設問2	設問3
● ● ● ●	A	69	C	B	A	B	54.7	68.8	76.0	70.0	○	×	○
● ● ● ●	A	69	B	B	B	C	71.3	68.8	66.4	50.0	○	×	○
● ● ● ●	B	62	B	B	D	C	63.3	68.8	32.0	50.0	○	×	△
● ● ● ●	A	73	B	B	A	B	71.3	56.8	88.0	70.0	○	×	○
● ● ● ●	A	75	B	B	A	D	71.3	68.8	85.6	20.0	○	○	○
● ● ● ●	C	43	D	C	C	D	34.7	48.8	39.2	20.0	○	×	○
● ● ● ●	A	65	B	B	C	C	68.0	55.2	44.8	40.0	○	○	△



	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10
	関係構築力	関係構築力	関係構築力	表現伝達力	表現伝達力	関係構築力	相手理解力	相手理解力	相手理解力	相手理解力
○の割合	100.0%	22.2%	77.8%	66.7%	33.3%	77.8%	88.9%	88.9%	100.0%	0.0%
△の割合	0.0%	0.0%	22.2%	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	88.9%
×の割合	0.0%	77.8%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%

設問ごとの正誤結果を  
把握できます

# 05

## 価格表・取消料

# 価格表

※価格は全ておひとり様・税込となります。

検定・診断、各種講座を組み合わせた価格設定が可能です。お得な公開講座チケットもご用意しています。

検定・診断	受験時間	費用	備考
全検定・診断	40～60分	5,500円～	受験時間は検定・診断のより異なります。 詳細は別紙「検定診断」資料に記載しています。

講座	費用	備考
公開講座 ※1	46,200円～92,400円	各講座費用は公開講座   ヒンシツ大学に掲載しています。
企業研修 ※2	55,000円～104,500円	講座により費用が異なります。
IT新書 ※3	33,000円～55,000円	「ヒンシツ大学のIT新書」のご利用方法に詳細を記載しています。

※1 公開講座はお得なチケットをご用意しています。詳細は「公開講座チケットのご案内」に掲載しています。

※2 企業研修は実施人数によりボリュームディスカウントがあります。詳しくはご相談ください。

※3 IT新書は受講講座人数によりお得な価格設定をご用意しています。

講座	講義時間	費用	備考
e-learning	1～3時間	20,000～30,000円	コンパクトにまとめたカリキュラムを講師がお伝えするスタイル。
オンラインセミナー	1時間	5,000～10,000円	各テーマごと講師による講演スタイルでお伝えするスタイル。
e-learning (Light Plan)	30分	5,000円	生成AIを活用し、カリキュラムのポイントをお伝えするスタイル。

# 「ヒンシツ大学のIT新書」のご利用方法

研修はZoomを利用したオンライン研修となります。  
集合研修は参加人数により、催行中止の場合もあります。

## お申込人数と研修形態を決定

### 集合研修

研修日程表から選択



1～3名様

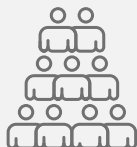


4名様以上



### 企業1社研修

1人3講座以上受講



4名様以上



### 事業会社・システム開発会社

(共通カリキュラム)

#### ■ 講座No 01-48 基本

社会人  
基礎研修

業務  
効率化

ITスキル  
基礎  
研修

ITスキル  
応用  
研修

マネジメント

#### ■ 講座No 200-214 品質スキル強化 ※

品質基礎  
研修

品質応用  
研修



### システム開発会社

(エンジニア育成カリキュラム)

#### ■ 講座No 100-122 Java開発

開発基礎研修  
Java、Webアプリ

開発応用研修

技術実践研修  
スプリント

### 価格表（税別）

ご希望に合わせてお見積りいたします

のべ受講 講座数	30,000円 講座	50,000円 以上講座
10-19人	15%割引	10%割引
20人以上	25%割引	20%割引

価格は**のべ受講数**により割引を適用しお見積りいたします。

### のべ受講数のカウントについて

	30,000円 講座	50,000円 以上講座
1受講	0.5人 カウント	1.0人 カウント

※30,000円・50,000円講座を混在受講される  
場合はそれぞれの割引を適用した合算となります。

※各講座概要（No 01-214）は別資料でご案内しております。

# 公開講座チケットのご案内

## 公開講座チケットとは

- 定額受講できあらかじめ必要枚数分を一定数以上購入することで割引を適用することができます。  
原則チケット1枚で1講座受講できます。 ※一部例外があります。

※6営業日前までに受講者数が規定に満たない場合は、開催中止（他日程開催への振り替え）となりますのでご了承ください。

## チケット単価 42,000円（税抜）

※初回ご購入時のみ特別割引額を設定しております。

ご購入枚数	割引率	チケット単価（1枚あたり／税抜）
【初回のみ】5枚～19枚のご購入	5%	39,900円（税込:43,890円）
1枚～19枚のご購入	0%	42,000円（税込:46,200円）
20枚～99枚のご購入	5%	39,900円（税込:43,890円）
100枚～299枚のご購入	10%	37,800円（税込:41,580円）
300枚～499枚のご購入	15%	35,700円（税込:39,270円）
500枚～999枚のご購入	20%	33,600円（税込:36,960円）
1000枚～のご購入	30%	29,400円（税込:32,340円）

# 取消料（公開講座・企業研修・IT新書共通）

取消日	取消料率	内容
発注～6営業日前迄	なし	発注から講座実施6営業日前までは取消料はかかりません。
5営業日前以降	100%	講座実施5営業日前以降は、講座ご提供価格全額の取消料を申し受けます。

※検定・診断・e-learning・オンラインセミナーは取消料を申し受けておりません。

## （例）1日研修

研修実施日	取消日	取消料
10月1日	9月23日（6営業日前）	かかりません。
	9月24日（5営業日前）	100%申し受けます。

## （例）2日研修

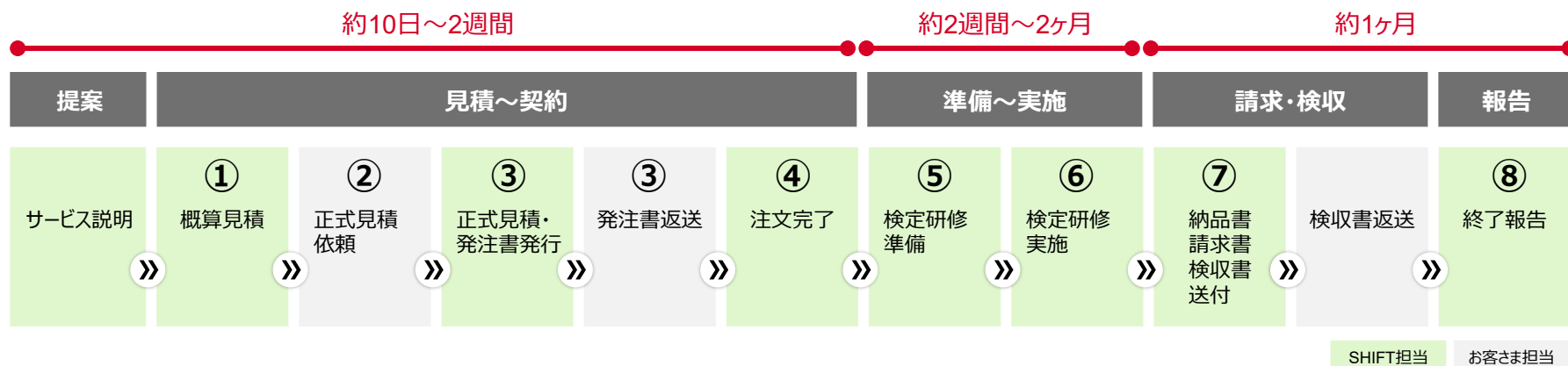
※2日で1講座を行う場合。講座開始日（1日目）が基準となります。

研修実施日	取消日	取消料
1日目 10月1日 2日目 10月2日	9月23日（6営業日前）	かかりません。
	9月24日（5営業日前）	100%申し受けます。

# 06

お申し込みから実施・精算までの流れ  
お問い合わせ先

# ご提案～実施～終了までの流れ（スキル診断（検定）／教育コース（研修）共通）



## ①概算見積

SHIFTより、概算のお見積りをご提示いたします。  
お見積りに必要となる以下の情報の準備、提示をお願いいたします。

検定）対象検定、人数、受検期間、個人レポート有無  
講座）対象講座、人数、日数、カスタマイズ有無、開催場所（オンライン）

## ②正式見積依頼

概算お見積もりをご確認いただき、正式にご発注いただける場合は、弊社担当へ正式見積のご依頼をお願いいたします。

## ③正式見積～発注書返送

正式見積もり・発注書をPDFにてメール送付いたします。内容ご確認のうえ発注書に押印頂きPDFにて期日までにご返送をお願いいたします。

## ④注文完了

発注書の返送をもって注文完了となります。  
教材のカスタマイズや、検定準備などは、注文完了後より着手となります。

## ⑤検定

SHIFTより受験用URLをお送りいたします。事前に取り決めた受験期間内に各自受験をお願いいたします。  
受験が完了しましたら、採点后個人レポートを提出いたします。

## ⑥研修

受講日約1週間前に「講義テキスト・ZoomURL」など受講のご案内をいたします。研修は個人・グループワークなど演習中心に展開し、最後に理解度確認テスト・アンケートをお願いしています。  
（アンケートはカスタマイズ可能です）

## ⑦請求・検収

検定・研修終了後、請求書・納品書・検収書をPDFにてメール送付いたします。

## ⑧終了報告（オンラインミーティング）

研修で実施した理解度確認テスト・アンケートの結果報告とともに、講師総評をお伝えいたします。（報告資料は別途お渡しいたします）  
加えてウィークポイントの補い、スキルアップに向けた教育コースの計画・ご相談を行います。



# お問い合わせ先

---

資料請求、ご質問、ご相談などお気軽にお問い合わせください。  
株式会社 SHIFT および、「ヒンシツ大学」をよろしくお願いいたします。

ヒンシツ大学の詳細はこちら>

お問い合わせはこちら>

メールでのお問い合わせ

**hinshitsu-univ@shiftinc.jp**

その常識、変えてみせる。

***SHIFT***